

自	動	車	整	備	士
1	級	小	型	筆	記

問題と解説

下 巻

第1章 電気回路

上巻 4ページ

第2章 エンジン

上巻 41ページ

第3章 エンジン故障診断

上巻 215ページ

第4章 シャシ

2ページ

第5章 シャシ故障診断

185ページ

第6章 環境・安全

254ページ

第7章 法令

309ページ



1 電子制御式AT

- 1. センサ信号の異常検知 4
- 2. 機械式油圧センサ 6
- 3. 半導体式油圧センサ 8
- 4. スロットル・ポジション・センサ 11
- 5. ライン・プレッシャ制御 12
- 6. フェイルセーフ機能 15

2 無段変速機 (CVT)

- 1. 構造と作動 22

3 電動式パワー・ステアリング (EPS)

- 1. モード切り替えスイッチ 33
- 2. トルク・センサ 41
- 3. センサの異常検知 47
- 4. DC ブラシ・モータ 49
- 5. EPS制御 55

4 ABS : アンチロック・ブレーキ・システム

- 1. 車輪速センサ (パルス・ジェネレータ式)
..... 59
- 2. 車輪速センサ (磁気抵抗素子式) 62
- 3. FSR 駆動回路 / PMR 駆動回路 67
- 4. モジュレータ・バルブ駆動回路 73

5 車両安定制御装置

- 1. 構造・機能 77
- 2. プリチャージ機能付き真空式制動倍力装置
..... 81
- 3. VSCS の概要と構成部品 83
- 4. VSCS の作動 87

6 オート・エアコン

1. 論理信号センサ…………… 92
2. リニア信号センサ…………… 96
3. リサーキュレーション・アクチュエータ… 102
4. エア・ミックス・アクチュエータ…………… 108
5. ブロア・モータ（リニア駆動）…………… 111
6. バス・ラインを設けたアクチュエータ… 115
7. ECUによる制御…………… 117

7 SRSエア・バッグ

1. 構造・作動…………… 122
2. 整備上の注意事項等…………… 132

8 振動・騒音

1. 振動の表し方…………… 136
2. 音圧レベル…………… 141
3. ダンパ…………… 145
4. 振動・騒音分析器…………… 148
5. 騒音計…………… 149
6. エンジン関係…………… 151
7. トランスミッション…………… 155
8. プロペラ・シャフト／ドライブ・シャフト
…………… 156
9. サスペンション…………… 163
10. 振動と騒音現象のまとめ…………… 165
11. ブレーキ・ノイズ…………… 172
12. タイヤ…………… 173

第4章 シャシ

- ホイールの操作方向がCCW側の場合、ムービング・コアがCCW側に移動するため、コイルaの誘導電圧は低くなり、コイルbの誘導電圧は高くなります。
- ⑥マイコンによる異常検知は、信号電圧が下限値の閾値をダウン・エッジしたときに行います。信号電圧の上限値については異常検知を行いません。

3 センサの異常検知

【1】EPSにおけるセンサと図に示すマイコンが異常検知できる範囲の組み合わせとして、適切なものは次のうちどれか。[R3.3]

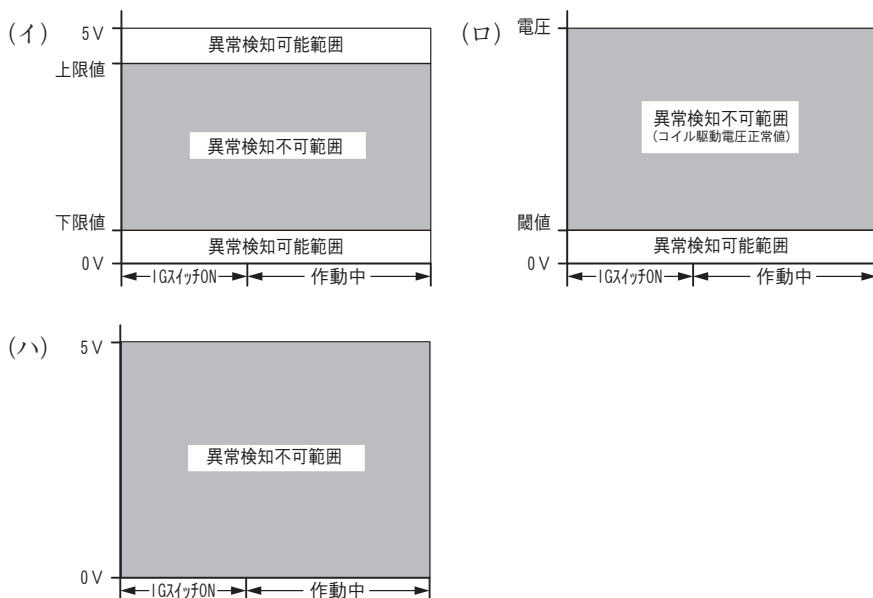


図 異常検知範囲

☑	(イ)	(ロ)	(ハ)
1.	ポテンショ・メータ式 トルク・センサ	差動同軸トランス式 トルク・センサ	機械式モード切り替え スイッチ
2.	差動同軸トランス式 トルク・センサ	電子式モード切り替え スイッチ	半導体式トルク・センサ
3.	半導体式トルク・センサ	ポテンショ・メータ式 トルク・センサ	差動同軸トランス式 トルク・センサ
4.	機械式モード切り替え スイッチ	半導体式トルク・センサ	電子式モード切り替え スイッチ

正解 & ポイント解説

【１】正解…１

トルク・センサとモード切り替えスイッチについて、次のように整理する。

トルク・センサの種類	異常検知の範囲
ポテンショ・メータ式トルク・センサ	図の（イ）
半導体式トルク・センサ	
差動同軸トランス式トルク・センサ	図の（ロ）

モード切り替えスイッチの種類		異常検知の範囲
機械式	マイクロ・スイッチ	図の（ハ）
	ドグル・スイッチ	
電子式	磁気抵抗素子（MRE）式スイッチ等	

◎ポテンショ・メータ式トルク・センサは、可動接点が移動することで、その信号電圧は0V強から5V弱の範囲で変化する。異常検知可能範囲は、（イ）となる。

◎半導体式トルク・センサは、MRE（磁気抵抗素子）を用いたもので、ムービング・コアが移動することで、その信号電圧は0V強から5V弱の範囲で変化する。異常検知可能範囲は、（イ）となる。

◎差動同軸トランス式トルク・センサは、ムービング・コアが移動すると、移動したコイル側の信号電圧が高くなり、反対コイル側の信号電圧が低くなる。マイコンは、信号電圧の上限値について異常検知しない。下限値の閾値をダウン・エッジしたときに異常検知する。異常検知可能範囲は、（ロ）となる。

◎モード切り替えスイッチは、機械式と電子式がある。機械式はマイクロ・スイッチを用いたもので、電子式は磁気抵抗素子（MRE）を用いたものである。いずれも論理信号センサである。異常時における信号電圧値（0Vまたは5V）と正常時にセンサがつくる信号電圧（0Vと5Vの組み合わせ）は、同じものが混在するため、基本的に異常検知はできない。異常検知不可範囲は、（ハ）となる。

4

エア・ミックス・アクチュエータ

【1】図に示すオート・エアコンに用いられるモータ・リダクション式のエア・ミックス・アクチュエータ回路の点検に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。[H26.3]

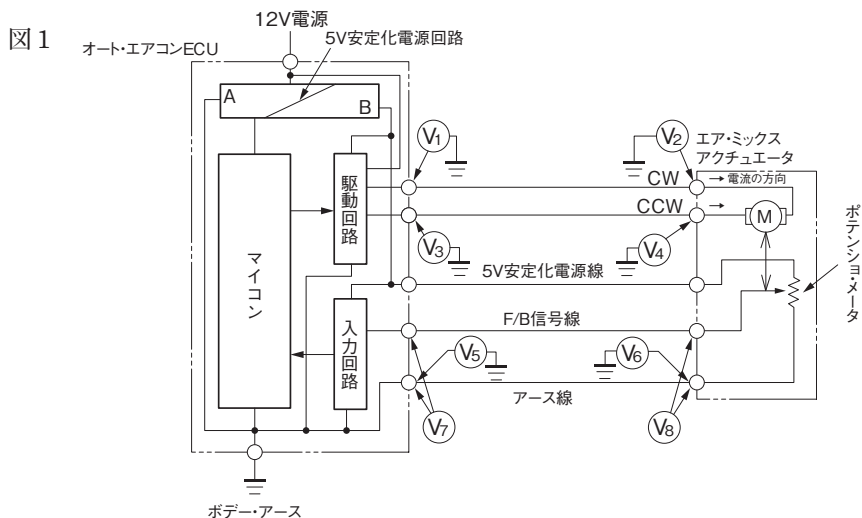


図2 エア・ミックス・アクチュエータ
駆動電圧特性

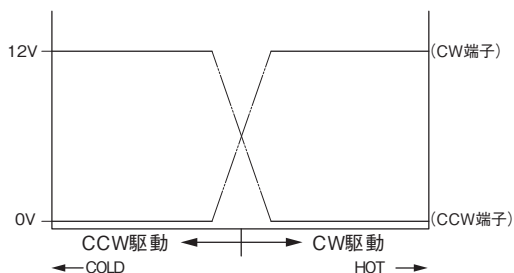
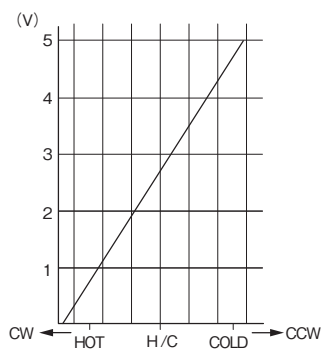


図3 F/B センサ信号電圧特性

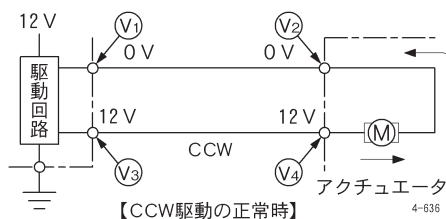


- ☑ 1. マニュアル操作でHOTモードからCOLDモードを選択した場合の、エア・ミックス・アクチュエータ駆動条件時、 V_1 と V_2 の両方に12Vの電圧が発生している場合は、オート・エアコンECU本体の異常が考えられる。
2. マニュアル操作でHOTモードからCOLDモードを選択した場合の、エア・ミックス・アクチュエータ駆動条件時、 V_3 と V_4 の両方に電圧が発生しない場合は、エア・ミックス・アクチュエータ内部の異常が考えられるが、オート・エアコンECU本体の異常は考えられない。
3. F/Bセンサが図3のH/Cの位置にあるエア・ミックス・アクチュエータの停止時に、 V_5 と V_6 の両方に5Vが発生している場合は、エア・ミックス・アクチュエータ内部の異常が考えられるが、オート・エアコンECU本体の異常は考えられない。
4. F/Bセンサが図3のH/Cの位置にあるエア・ミックス・アクチュエータの停止時に、 V_7 と V_8 の両方に電圧が発生しない場合は、オート・エアコンECU本体の異常及び5V安定化電源線の断線が考えられるが、ボデー・アースの不良は考えられない。

正解 & ポイント解説

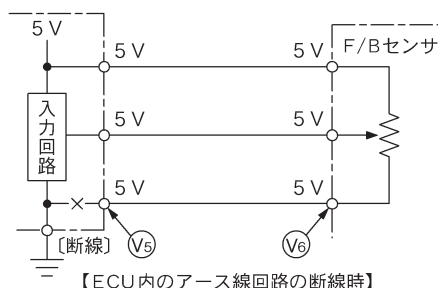
【1】正解…1

1. COLDモードを選択すると、CCW駆動することから、 V_3 電圧12V、 V_4 電圧12V、 V_1 電圧0V、 V_2 電圧0Vとなる。 V_1 と V_2 の両方に12Vが発生している場合、ECUがCW駆動しているなど、ECU本体の異常が考えられる。



2. エア・ミックス・アクチュエータ内部で異常（短絡）が発生していると、 V_3 と V_4 はともに0Vとなる。また、ECU本体でCW駆動しているなどの異常も考えられる。この場合、エアコンECU本体の異常も考えられる。

3. V5とV6の両方に5Vが発生している場合、オート・エアコンECU本体の異常（アース線回路の断線）が考えられる。アクチュエータ内部の異常は考えられない。



4. V7とV8の両方に電圧が発生しない場合、5V電源が供給されていないことが考えられる。具体的にはECU本体の異常及び5V安定化電源線の断線など。この他、ECUのボデー・アースが解放していると、V7とV8はともに0Vとなる。

一般解説

■エア・ミックス・アクチュエータ [1シV1章]

- ①エア・ミックス・アクチュエータは、冷房と暖房のエアを混合する機構で、モータによりモータ・リダクション式とステッピング・モータ式があります。
- ②モータ・リダクション式は、マイコンがエア・ミックス・バルブの目標値を算出すると、駆動回路を介してモータをCWまたはCCW駆動します。電源は12Vが使われます。
- ③アクチュエータ内にはエア・ミックス・バルブのフィード・バック・センサとしてポテンショ・メータが組み込まれています。ポテンショ・メータの可動接点は、エア・ミックス・バルブと機械的に連動しており、電源は5V安定化電源が使われます。
- ④フィード・バック・センサの異常検知は、信号電圧が上限値の閾値をアップ・エッジしたとき、または、下限値の閾値をダウン・エッジしたときに行われます。

シヤシ故障診断

1 電子制御式AT

- 1. スロットル・ポジション・センサ …… 186
- 2. 変速パターン選択スイッチ …… 187
- 3. オーバドライブ・スイッチ …… 189
- 4. 油圧センサ …… 191
- 5. シフト・ポジション・センサ …… 192
- 6. フェイルセーフ機能 …… 194
- 7. 車載故障診断装置に表示されない不具合 … 196

2 EPS

- 1. 故障診断全般 …… 200
- 2. モード・スイッチ …… 205
- 3. 車載故障診断装置に表示されない不具合 … 211

3 ABS

- 1. コード別の故障診断 …… 213
- 2. モータOFF・ON故障診断 …… 219
- 3. ポンプ・モータ回路の故障診断 …… 226
- 4. 車載故障診断装置に表示されない不具合 … 227

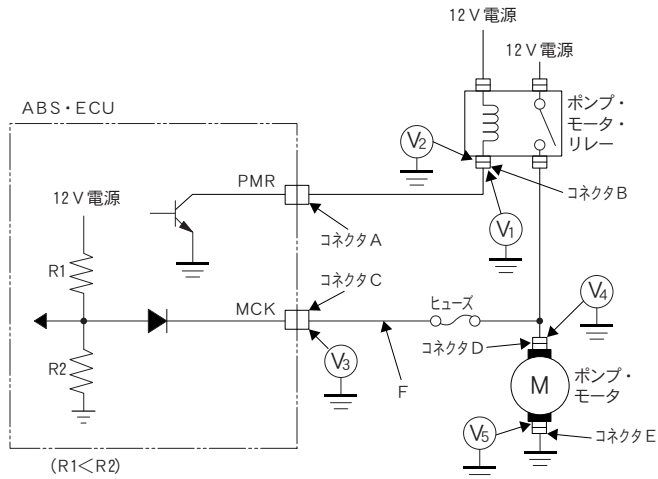
4 オート・エアコン

- 1. 故障診断前の一般知識 …… 229
- 2. エア・ミックス・モータ系 …… 231
- 3. モード・モータ系 …… 234
- 4. 内外気切り替えモータ系 …… 242

5 振動・騒音

- 1. 故障診断方法 …… 244
- 2. 不具合現象とその原因 [1] …… 246
- 3. 不具合現象とその原因 [2] …… 249

- 【1】図に示すABS回路で、ポンプ・モータの非作動条件（ポンプ・モータ・リレー OFF）時における故障診断に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。[H24.3]



- ☑ 1. V_1 に電圧がなく、コネクタAを外したときに V_1 に電圧がある場合は、ABS・ECUの不良が考えられる。
2. V_4 に電圧があり、コネクタEを外して V_5 には電圧がない場合は、コネクタE～ボデー・アース間の不良が考えられる。
3. V_3 に電圧があり、 V_4 には電圧がなく、ヒューズが断線していた場合は、Fの箇所での短絡（地絡）が考えられる。
4. V_1 に電圧がなく、コネクタBを外したときに V_2 に電圧がない場合は、ABS・ECUの不良が考えられる。

正解 & ポイント解説

【1】正解…1

1. V_1 に電圧がなく、コネクタAを外したときに、 V_1 に電圧がある場合、ABS・ECUの不良（ABS・ECU内のPMR系統が常にON）が考えられる。
2. V_4 に電圧があり、コネクタEを外して V_5 に電圧がない場合、ポンプ・モータ内の断線が考えられる。
3. Fの箇所で地絡があると、ポンプ・モータ作動時にヒューズが断線する。この状態でポンプ・モータ非作動条件時は V_3 に電圧がなく、 V_4 にも電圧がない。

4. V1に電圧がなく、コネクタBを外してもV2に電圧がない場合、ポンプ・モータ・リレーのコイルの断線が考えられる。

4 車載故障診断装置に表示されない不具合

【1】車載故障診断装置には表示されないABSの不具合に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。[R7.3/H31.3]

☒	不具合の状況	不具合の推定原因
1.	タイヤがロックしてしまう	当該タイヤ側のOUT側モジュレータ・バルブが開側に固着
2.	ブレーキ・ペダルのストロークが大きい	エアの混入、油圧系統不良、OUT側モジュレータ・バルブ漏れ
3.	ブレーキが片効きする	左右片側のOUT側モジュレータ・バルブ閉側に固着又は漏れ
4.	ブレーキの効きが悪い	エアの混入、車輪速センサの取り付け不良、車輪速センサのピックアップ部の鉄片付着、車輪速センサのロータの歯欠け、OUT側モジュレータ・バルブ漏れ

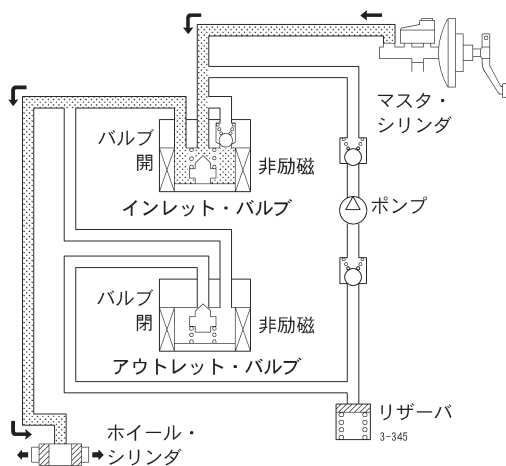
正解 & ポイント解説

【1】正解…1

- 「OUT側モジュレータ・バルブが開側に固着」⇒「OUT側モジュレータ・バルブが閉側に固着」。減圧できないため、タイヤがロックする。
- OUT側モジュレータ・バルブに漏れがあると、油圧が抜けるためペダル・ストロークが大きくなる。
- 左側のOUT側モジュレータ・バルブが閉側に固着していると、左側タイヤはロックしてブレーキの効きが悪くなるが、右側は正常に作動するためブレーキの効きは良い。また、左側のOUT側モジュレータ・バルブに漏れがあると、左側の制動力が低下する。

■モジュレータ・バルブ [1シⅢ1章・教科書外]

- ①インレット・バルブはマスタ・シリンダの油圧を遮断する役目をします。
- ②アウトレット・バルブはホイール・シリンダの油圧を抜く(減圧する)役目をします。



《増圧作動時(通常制動)》

■ABSの油圧経路

環境
・
安全

1

環境保全

1. 環境問題 255
2. 資源の有効利用 258
3. 産業廃棄物処理の影響と対応 263
4. 代替フロン 265
5. 自動車リサイクル法 267
6. 整備事業場における環境保全 273

2

安全管理

1. 災害のあらまし／災害防止 276
2. ハンマ 283
3. スパナ 284
4. ベンチ・グラインダ 285
5. インパクト・レンチ 286
6. 卓上ボール盤及び電気ドリル 287
7. ガレージ・ジャッキ／
リフト（ツイン・ポスト形） 288
8. チェーン・ブロック 289
9. 充電器の取り扱い 290
10. 配電盤の取り扱い 291
11. 燃焼に必要な条件 291
12. 気体・液体・固体の燃焼 292
13. 消火器 295
14. 危険物 296
15. 応急手当についての心得 305
16. 指定部品 307

1. 環境保全

1 環境問題

【1】自動車にかかわる環境問題と環境保全への取り組みに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。[H29.3改]

- ☒ 1. 使用済自動車に対して、リサイクルの推進、リサイクルしやすい車の開発、廃棄物の量の削減等が行われている。オゾン層の破壊の要因である特定フロンR12（CFC-12）に対しては、使用済自動車解体時やカー・エアコン修理時のフロン大気放出の抑止（回収、再生及び破壊）等が行われている。
2. 自動車による騒音は、エンジン、排気騒音とも格段に低減されてきているが、更なる低減の努力が求められているため、エンジン本体の改良、エンジン・ルームの遮へい、マフラの改良、タイヤ構造の改良等が行われている。
3. 地球温暖化の要因の1つであるCO₂に対して、燃料消費率の向上、クリーン・エネルギー車の開発、エコ・ドライブの励行等が行われている。代替フロンR134a（HFC-134）に対しては、使用済自動車解体時やカー・エアコン修理時のフロン大気放出の抑止（回収、再生及び破壊）等が行われている。
4. 水質汚濁の要因である工場排水に対して、工場排水浄化槽の設置等が行われており、更にオイル類、エンジン冷却水等の回収処理が検討されている。粉じんの要因であるアスベスト粉じんに対しては、アスベスト材の使用撤廃等が行われた。

【2】自動車にかかわる環境問題と環境保全への取り組みに関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。[R3.3]

- ☒ 1. 自動車による騒音は、エンジン、排気騒音とも格段に低減されてきているが、更なる低減の努力が求められている。また、生産工場からの騒音や臭気についても同様といえる。
2. pH4という強酸性雨によって、森林の立ち枯れ、湖沼の生物への影響に加えて、自動車の塗面を侵すなど、自動車にも被害が生じるため、自動車整備工場では工場排水浄化槽の設置が進んでいる。
3. 地球温暖化に対応するため、自動車の燃料消費率の向上、クリーン・エネルギー車の開発、エコ・ドライブの励行、使用済自動車解体時やカー・エアコン修理時のフロン大気放出の抑止（回収、再生及び破壊）等が行われている。

4. 化石燃料の燃焼によって発生する物質の中で、特に NO_x、PM、光化学オキシダントなどは、大都市を中心に大気汚染の原因となって呼吸器障害などの原因となるため、排出ガスの浄化、工場排煙のクリーン化などが行われている。

【3】自動車にかかわる環境問題と環境保全への取り組みに関する記述として、適切なものは次のうちどれか。[H28.3改]

- ☒ 1. 化石燃料の燃焼によって発生する物質の中で、特に CO₂ は大都市を中心に大気汚染の原因となって呼吸器障害等の原因となるため、排出ガスの浄化、工場排煙のクリーン化等が行われている。
2. アスベストは、この粉じんを吸い込むと健康を害するため、将来は全廃するよう代替材料の研究が進められている。
3. 地球温暖化に対応するため、使用済自動車解体時やカー・エアコン修理時のフロン大気放出の抑止（回収、再生及び破壊）の導入の検討が行われている。
4. 産業活動に伴う各種廃棄物に含まれる有害物質等による土壌の汚濁や、水資源の汚濁等が問題になっているため、オイル類、エンジン冷却水等の回収処理、工場排水浄化槽の設置等が行われている。

正解 & ポイント解説

【1】正解…4

4. オイル類、エンジン冷却水等は、すでに回収処理が行われている。

【2】正解…2

2. 酸性雨への対応として、自動車では燃料の改良、排出ガスの浄化及び工場排煙のクリーン化などの対策がとられている。自動車整備工場における工場排水の浄化槽設置は、水質汚濁を防止するための対策である。

【3】正解…4

1. 大気汚染の原因となっているのは、窒素酸化物（NO_x）、粒子状物質（PM）、光化学オキシダントなど。CO₂ は地球温暖化の原因となる温室効果ガスである。
2. アスベストは、既に使われていない。
3. フロンの大気放出の抑止（回収、再生及び破壊）はすでに導入されている。

一般解説

■自動車にかかわる環境問題〔Ⅱ環境１章・以下同じ〕

項 目	環境問題	発 生 状 況
地球規模の環境問題	地球温暖化	気象庁の温室効果予測検討部会では、今後100年間に世界の平均気温が2℃（低く見て1.5℃、高ければ6℃）上昇する可能性がある」と指摘している。
	オゾン層の破壊	カー・エアコンに使用されているR12（CFC-12）等のフロンが大気放出されることにより、成層圏にあるオゾン層が破壊され、有害な紫外線が増加し、皮膚ガンの増加等が懸念されている。
	酸性雨	pH4という強酸性雨が降るヨーロッパ、北アメリカの被害は特にひどく、森林の立ち枯れ、湖沼の生物への影響や、自動車の塗面を侵す等の問題が生じている。
局地的な環境問題	廃棄物公害	産業活動に伴う各種廃棄物や、使用済自動車を廃棄する際、廃棄物に含まれる有害物質等による土壌の汚濁や、水資源の汚濁等が問題になっている。
	大気汚染	化石燃料の燃焼によって発生する物質の中で、特にNOx、PM（粒子状物質）、光化学オキシダント等は、大都市を中心に大気汚染の原因になっており、呼吸器障害等の原因となっている。 ジーゼル黒煙やアスベストなどの粉じんを吸い込むことによる健康被害が発生している。
	感覚公害	自動車による騒音は、エンジン、排気騒音とも格段に低減されてきているが、更なる低減の努力が求められている。また、生産工場からの騒音や臭気についても同様である。

■環境保全への取り組み

	環境問題	環境物質	取り組み内容
地 球 的 問 題	オゾン層の破壊	特定フロン R12（CFC-12）	使用済自動車解体時、カー・エアコン修理時のフロン大気放出の抑止（回収、再生及び破壊）等
	地球温暖化	CO ₂	燃料消費率の向上、クリーン・エネルギー車の開発、エコ・ドライブの励行等
		代替フロン R134a（HFC-134）	使用済自動車解体時、カー・エアコン修理時のフロン大気放出の抑止（回収、再生及び破壊）等
	酸性雨	排出ガス、工場排煙	燃料の改良、排出ガスの浄化、及び工場排煙のクリーン化

第7章

法令

1 車両法

1. 車両法の目的	311
2. 定義	313
3. 自動車の種別	314
4. 整備管理者	315
5. 整備命令	316
6. 検査及び自動車検査証	317
7. 特定整備事業	321
8. 特定整備の定義	325
9. 特定整備記録簿	327
10. 指定整備記録簿	328
11. 保安基準適合証	329

2 点検整備

1. 点検基準ごとの自動車の種別	330
2. 点検基準	333
3. 日常点検	336

1. 車体の大きさ等	337
2. 安定性	340
3. 走行装置	341
4. 施錠装置等	342
5. 車枠及び車体	343
6. 運転者席	344
7. 騒音防止装置	345
8. 走行用前照灯	347
9. すれ違い用前照灯	347
10. 前部霧灯	348
11. 昼間走行灯	349
12. 番号灯・尾灯	350
13. 制動灯	351
14. 補助制動灯	352
15. 後退灯	353
16. 車幅灯・方向指示器	356
17. その他の灯火等の制限	358
18. 警音器	359
19. 非常信号用具	360
20. 後写鏡	361

法令は出題範囲が広いので、弊社発行の「法令教本 令和7年版」の併用をお勧めします。法令教本では法令ごとに過去5年分程度の試験問題（1級・2級・3級）を全て収録しています。令和7年版の定価は1,800円です。

1. 車両法

1 車両法の目的

- 【1】「道路運送車両法」の目的を定めた「道路運送車両法第1条」について、(イ)から(ハ)に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。[R7.3]

この法律は、道路運送車両に関し、所有権についての公証等を行い、並びに安全性の(イ)及び公害の防止その他の環境の保全並びに整備についての(ロ)の向上を図り、併せて自動車の(ハ)事業の健全な発達に資することにより、公共の福祉を増進することを目的とする。

- | | (イ) | (ロ) | (ハ) |
|--|-----|-----|-----|
| ☒ 1. | 保障 | 技術 | 整備 |
| 2. | 保障 | 知識 | 検査 |
| 3. | 確保 | 技術 | 整備 |
| 4. | 確保 | 知識 | 検査 |

- 【2】「道路運送車両法」の目的を定めた「道路運送車両法第1条」について、(イ)から(ハ)に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものは次のうちどれか。[R2.3]

この法律は、道路運送車両に関し、(イ)についての公証等を行い、並びに安全性の確保及び公害の防止その他の環境の(ロ)並びに整備についての技術の向上を図り、併せて自動車の整備(ハ)の健全な発達に資することにより、公共の福祉を増進することを目的とする。

- | | (イ) | (ロ) | (ハ) |
|--|-----|-----|-----|
| ☒ 1. | 登録 | 保護 | 環境 |
| 2. | 所有権 | 保全 | 事業 |
| 3. | 登録 | 保護 | 事業 |
| 4. | 所有権 | 保全 | 環境 |

【3】「道路運送車両法」の目的を定めた「道路運送車両法第1条」について、(イ)から(ハ)に当てはまるものとして、下の組み合わせのうち、適切なものはどれか。[H28.3]

この法律は、道路運送車両に関し、所有権についての(イ)等を行い、並びに安全性の確保及び(ロ)の防止その他の環境の保全並びに整備についての技術の向上を図り、併せて自動車の整備事業の健全な発達に資することにより、公共の(ハ)を増進することを目的とする。

	(イ)	(ロ)	(ハ)
☒ 1. 証明	事故	利益	
2. 公証	公害	福祉	
3. 証明	事故	福利	
4. 照会	災害	福祉	

正解 & ポイント解説

【1】正解…3／【2】正解…2／【3】正解…2

一般解説

■車両法の目的

①車両法第1条（この法律の目的）。

②この法律は、道路運送車両に関し、所有権についての公証等を行い、並びに安全性の確保及び公害の防止その他の環境の保全並びに整備についての技術の向上を図り、併せて自動車の整備事業の健全な発達に資することにより、公共の福祉を増進することを目的とする。

【1】「道路運送車両の保安基準」及び「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」に照らし、最高速度が100km/hの小型四輪乗用自動車の前部霧灯の基準として、**不適切なものは次のうちどれか。**〔H28.3改〕

- ☒ 1. 前部霧灯は、白色又は淡黄色であり、その全てが同一であること。
2. 前部霧灯の照明部の最外縁は、自動車の最外側から400mm以内となるように取付けられていること。
3. 前部霧灯は、車幅灯、尾灯、前部上側端灯、後部上側端灯、番号灯及び側方灯が消灯している場合に点灯できない構造であること。
4. 前部霧灯は、その照明部の上縁の高さが地上800mm以下であって、すれ違い用前照灯の照明部の上縁を含む水平面以下、下縁の高さが地上400mm以上となるように取付けられていること。

正解 & ポイント解説

【1】正解…4

4. 「下縁の高さが地上400mm以上」⇒「下縁の高さが地上250mm以上」。

一般解説

■前部霧灯

- ①保安基準第33条（前部霧灯）、細目告示第199条。
- ②前部霧灯の灯光の色は、白色または淡黄色であり、その全てが同一であること。
- ③前部霧灯は、同時に3個以上点灯しないように取り付けられていること。
- ④二輪自動車等を除く自動車に備える前部霧灯は、その照明部の上縁の高さが地上800mm以下であって、すれ違い用前照灯の照明部の上縁を含む水平面以下、下縁の高さが地上250mm以上となるように取り付けられていること。
- ⑤前部霧灯の照明部の最外縁は、自動車の最外側から400mm以内となるように取り付けられていること。
- ⑥前部霧灯の点灯操作状態を運転者席の運転者に表示する装置を備えること。
- ⑦前部霧灯は、走行用前照灯及びすれ違い用前照灯の点灯状態にかかわらず、点灯及び消灯ができるものであること。
- ⑧前部霧灯は、車幅灯、尾灯、前部上側端灯、後部上側端灯、番号灯及び側方灯が消灯している場合に点灯できない構造であること。ただし、もっぱら手動により前部霧灯を短い間隔で断続的に点滅する、または交互に点灯させる場合にあっては、この限りでない。

書籍の訂正について

本書の記載内容について正誤が発生した場合は、弊社ホームページに正誤情報を掲載しています。

株式会社公論出版 ホームページ

書籍サポート/訂正

URL : https://kouronpub.com/book_correction.html



本書籍に関するお問い合わせ

メール



問合せフォーム



FAX



FAX : 03-3837-5740

必要事項

- ・お客様の氏名とフリガナ
- ・FAX番号 (FAXの場合のみ)
- ・書籍名 ・該当ページ数 ・問合せ内容

※お問い合わせは、本書の内容に限ります。また、回答までにお時間をいただく場合がございます。ご了承ください。

自動車整備士 1級小型筆記 問題と解説 令和7年(2025年)版 下巻

■発行所 株式会社 公論出版

〒110-0005

東京都台東区上野3-1-8

TEL 03-3837-5731

■定価 3,850円(税込) ※上下巻セットでの定価です

■発行日 令和7年7月20日